



干野 宜大 (ピアノ)

Takahiro Hoshino

北海道出身。4歳よりピアノを始め、翌年には初めての公開演奏で、即興演奏や自作曲の演奏を行う。全日本学生音楽コンクール小学生の部北海道大会第1位、並びに東京大会第3位受賞。桐朋女子高等学校音楽科(共学)を経て、同大学、同大学研究科で学ぶ。在学中、家永音楽事務所ピアノ・オーディションなどで優勝、上位入賞し、活発な演奏活動をおこなう。1994年からハンガリー国立リスト音楽院にてハンガリー政府給費留学生として研鑽を積む。留学中に、マリア・カナルス国際コンクール特別第1メダル(第4位)、ヴィオッティ=バルセシア国際コンクール第2位、カントゥ国際ピアノコンチェルトコンクール第1位並びに聴衆賞、マスタープレイヤーズ国際コンクール優勝(マスタープレーヤーズ大賞)並びに特別名誉賞、TIM ROMA 国際コンクール特別名誉賞など、数々の国際コンクールにて上位入賞、優勝。それらをきっかけにヤング・プラハ国際音楽祭、マスタープレイヤーズ国際音楽祭などのヨーロッパ各地の音楽祭に招聘される。ハンガリー国際「5つの堅琴」音楽祭に招かれた際には、最も才能と将来性に溢れたアーティストに贈られる「リラ大賞」を同音楽祭委員会から授与される。これまでに、ハンガリー交響楽団、ハンガリーMAV 交響楽団、ハンガリー・ソルノク市交響楽団、モスクワ管弦楽団、ルーマニア国立管弦楽団、ポーランド・ステテック管弦楽団、プラハ室内管弦楽団、また国内では東京ニューシティ管弦楽団、札幌交響楽団などのオーケストラと共演する。2000年の東京文化会館でのデビューリサイタルが大成功を収め、『音楽現代』の「今、目が離せない10人の日本のピアニスト」にてトップページで扱われるなど、各誌でその演奏と才能を高く評価される。その後は、紀尾井ホールや浜離宮朝日ホールでのリサイタル、『干野宜大コンツェルトのタペ』(共演: プラハ室内管弦楽団)を毎年開催し、いずれも大きな成功を収める。2006年、『名曲巖流島』シリーズ第一弾(浜離宮朝日ホール)では、ピアニスト山田武彦氏と共演し、以来各地で聴衆を魅了している。現在は、日本各地やヨーロッパでリサイタルを開催する他、コンチェルトのソリスト、室内楽、NHK-FM リサイタル、朝日カルチャーセンターへの出演等、幅広い演奏活動を行う。活発な演奏活動と共に、上野学園大学音楽学部(2013年4月より専任講師に就任)桐朋学園大学音楽学部、にて後進の指導にあたる。また札幌コンセルヴァトワールより客員教授を務める。これまでに日本音楽コンクール(毎日新聞社主催)、家永ピアノオーディション、鳥栖フツベルコンクール、グレンツェンコンクール、ピティナコンペティション、日本クラシックコンクール、国外ではヴィオッティ国際コンクール、カントゥ国際コンクール、イブラ国際コンクールなど国内外のコンクールでの受賞者を育てる。これまでに河原裕康、宮澤功行、松岡貞子、田崎悦子、ミハイル・ヴォスクレセンスキー、デミトリー・パシキーロフ、ジョルジ・ナードル、フェレンツ・ラドシュの各氏に師事した他、フランスピアノ界の巨匠エリック・ハイドシェック氏との交流に恵まれる。これまでにCD アルバム『LISZT-SCHUBERT』、『熱情・クライスレリアーナ』をアウローラ・クラシカルより、また、昨年はオクタヴィアレコードに移籍し、トリオンより『LISZT I ~内なる深淵との対峙~』をリリース。それぞれレコード芸術誌で特選盤に選出されるなど高い評価を得る。2005年にリリースされた、友人でもある権 龍機作品集CD アルバム『祈り』では全曲に渡ってピアノを担当。ジャンルを超えた演奏技術と表現力の高さを絶賛される。近年は日本各地でリスト生誕200年記念連続演奏会など、ソロリサイタルやオーケストラとの共演、室内楽コンサートの他、ハンガリー・ソルノク市立交響楽団定期演奏会及びオペラシティコンサートホールでの来日東京公演のソリストとしてバルトークのピアノ協奏曲第3番を共演し大成功を収めた。ドイツのハレで開催される国際音楽祭Euro Arts Festival に毎年招かれソロリサイタルを開催する他、マスタークラスでも教授として招かれる。“ホロヴィッツの恋したピアノ” CD75を使用した浜離宮朝日ホール、東京文化会館でのリサイタルは各音楽雑誌等で高く評価され、タカギクラヴィアでの『くらしくマニアシリーズ』では第5、6回に出演し、『ヴィルトゥオーソシリーズ』では最終回に出演した。2015、2016年には松涛サロンにて『ホロヴィッツ・メモリアルコンサート』を行った。

T&Kクラシックス タカギクラヴィア(株)グループ 専属アーティスト

干野宜大 Takahiro HOSHINO 公式ホームページ [Pianist Takahiro Hoshino](#)